

磁性管のリモートフィールド 渦電流探傷試験(RFECT)



RFECT装置

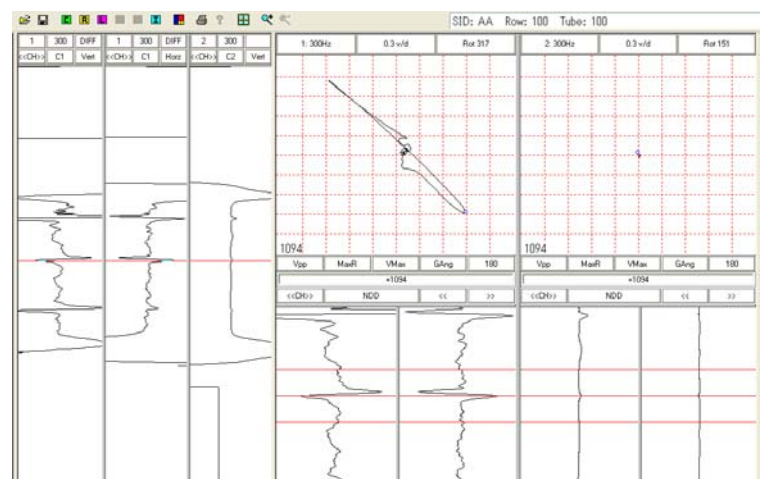
磁性管はその透磁率の不均一により、一般の渦電流探傷試験は適用できません。リモートフィールド渦電流探傷試験は、低周波数の採用と励磁コイルと検出コイルをリモートフィールド領域に配置することで直接磁界の影響を受けずに間接磁界の変化を検出することにより、磁性管探傷を実現しました。

特長

- 磁性管を高速で全面探傷可能
プローブ自動引抜機を使用することでチューブ長6 mで300本/日施行
バツフル部、管板部近傍(約20 mm範囲)は不感帯
- 内外面の減肉が検出可能
- 非磁性の渦電流法とほぼ同等の検出能
肉厚2.0 mm程度:対比試験片φ1貫通穴検出可能
- ABS、DIFの同時探傷可能

適用

- 内径10 mm以上の磁性管
- 肉厚4 mm以下



解析画面